



西日本区ホームページ・http://www.ys-west.or.jp/  
西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2014年6月号

### 「主題」

- 国際会長 : 言葉より行動を  
アジア地域会長 : 未来を始めよう、今すぐに  
西日本区理事 : 「響きあい、ともに歩む To walk together, echoing each other」  
- 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく -  
中部部長 : 「将来を見つめたワイズ活動!」を今やってみよう!  
プラザクラブ会長 : 「継続するクラブ活動を進めよう!」  
強調月間・活動 : 【評価・計画】今年度の活動目標がどこまで達成できたかを振り返り、未達成の原因を探り、この振り返りの成果を次年度の活動に生かそう。】

### 6月例会および今後の予定案内

- 【6月第1例会】**  
日時：6月11日(木)  
場所：名古屋YMCA会議室・集合：18:30  
「いごこ家」・19:15-  
内容：仮決算報告後、反省会
- 【6月第2例会】**  
日時：6月25日(木)・18:45-  
場所：名古屋YMCA会議室  
出席義務者：役員(後藤・榎田・鈴木)
- 【今後の予定】**
- 街頭募金  
日時：6月7日(日)・13:30-14:45  
場所：名駅・名鉄百貨店前
  - 老人ホームへの音楽慰問  
日時：6月21日(日)・小澤宅集合：11:30  
場所：Cアミーユ「植田西」  
〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1206  
電話・052-800-1202
  - POM旅行  
日時：7月18日(土)-19日(日)  
場所：奥飛騨温泉郷「まほろば」  
岐阜県高山市奥飛騨温泉郷新穂高温泉  
TEL. 0578-89-2382  
費用：実費(≒12,000円/人)
  - パレットキッズと釣り会  
日時：8月22日(土)・現地集合 10:00  
場所：みやま荘 長野県木曾福島郡木曾町新開7618-3  
電話：0264-27-6177

### 5月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③④⑤⑥⑦
	大島 孝三郎	○	○	○		
	小澤 幸男	○				
書記	榎田 守隆	○	○	○	○	
会長	後藤 猛	○	○	○		
	島崎 正剛	○		○		
会計	鈴木 誉三	○	○			
	高田 廣	○				
連絡主事	西野 真希	○	○			
ゲスト						
諸活動	①陶芸教室 5/2					
	②ワイズ連絡会 5/13					
	-----					
	-----					
	-----					
	-----					
出席率(%)				100.0		
クラブファンド(円) ・ 当月/累計				7,000 / 71,010		
<b>最後のブリテン7月号は、プラザの思い出をテーマに400~800字程度にまとめ、表題をつけてメンバー全員6月25日(木)までに提出願います。</b>						

【2014-15年度クラブ役員】メネット連絡員・後藤猛/副会長。YMCA サービス・小澤幸男/ブリテン委員長・榎田守隆/EMC。BF。EF。JWF。メール委員・大島孝三郎/広報事業・鈴木誉三 /IBC。YEPP・島崎正剛/CS。TOP・高田廣/連絡主事・西野真希

## 5月第1例会報告

日時:5月14日(木)・18:45-20:45

場所:名古屋 YMCA 5F 会議室

### ◇会長挨拶

プラザクラブ創立27年、解散まで6月を残すだけとなりました。松本理事からはみなさんたちに他クラブ移籍を促す声掛けをお願いされましたが、個人の意思を尊重すること、またクラブ行事は解散後も有志が引き続き実施することを伝えました。なお、YMCAの維持会員継続については会員個人の選択に任せます。

### ◇報告・連絡事項

#### 1. 後藤会長

- (1)盛岡YMCAの支援金寄付に対する礼状が届く。
- (2)POM記念旅行・詳細1面参照のこと。

#### 2. 大島

プラザ解散後は東海クラブにお世話になります。

#### 3. 小澤

老人クラブ音楽訪問・詳細は1面参照のこと。

#### 4. 鈴木

第1例会は仮決算報告後、「いごこ家」で反省会。

#### 5. 櫛田

- (1)パレットキッズ(LD児)との釣り会  
日時未定、YMCAの浅野さんと打ち合わせ
- (2)ブリテン7月号に全員寄稿願います。テーマは自由ですが、出来ればワイズやクラブ、YMCAなどの思い出のようものが望ましい。400字詰原稿用紙1-2枚程度、締め切りは6月の第2例会までとします。

### ◇お願い、名古屋YMCA

大型台風で被害を受けたフィリピンの被災地を訪れたボランティアの学生が現地の窮状を訴え、ネパール地震の支援の呼び掛けとともに募金の協力を要請される。

クラブとして1000円/人当て、個人は制限なしで一括YMCAにお渡しした。

### ◇卓話「俳句入門」

講師:大島 孝三郎



大島さんはメンバー12,3人の「清和句会」に入会してまだ1年の新人さん、会報「火星」に初めて作品が載ったそうです。ご披露します、「焼かれても串にあらがう栄螺(さざえ)かな」。◆俳句とは、五・七・五の3句17音の世界で一番短い定型詩、起源は奈良時代に編纂された

万葉集だと言われている。平安時代の古今和歌集には、滑稽なるもの、という意味の「俳諧の部」で60首ほどある。平安後期になると一篇の和歌を複数の人が詠む遊びが起こり、鎌倉時代には575、77、575、77と順々に読んでゆく連歌(れんが)という形がやり始め、最初の575を発句と言い、それが独立して俳句の原型となった。◆南北朝時代、世阿弥の師二条良基(1320-1388)は滑稽な作品を集めた「雑体連歌」俳諧を著わす。戦国時代、松尾芭蕉が目標とした連歌師の第一人者宗祇(1421-1502)は、「新撰筑波集」を世に出したが、当時庶民の間で流行っていた滑稽俳諧連歌は入っていない。◆山崎宗鑑(1465-1554)荒木田守武(1472-1549)らは、発句の独立した俳諧なるもの(現在の俳句)を世に問う。これは滑稽なもの、風刺を前提にした句だったため、俳諧が文芸として認められるには、さらに1世紀を要す。◆俳諧を文芸の一ジャンルとして世に認めさせたのは松永貞徳(1571-1653)で、「俳諧も和歌の一体なり。賤しき道とあなどり給うべからず」と「俳諧 発句の独立」を正式に認めさせた。彼は「俳諧式目」を制定し、守武の諧謔、放逸に流れやすい俳諧を否定する。この保守性が文化人、武士に受け入れられ全国に広まったが、その保守性により貞徳の死後、貞門(松永貞徳の俳門)は分裂、西山宗因(1605-1682)の談林派が勃興する。◆宗因は荒木田守武を敬い、彼の自由闊達な俳風を好んだが、その自由な俳風はやがて低俗に流れ、嫌気がさした宗因は連歌に戻り、弟子の井原西鶴は小説家へ変身、一世を風靡した談林派は空中分解して行く。◆寛永21年、伊賀上野で生まれた松尾芭蕉(1644-1694)は19歳のとき城代藤堂家に出仕、松永貞徳、北村季吟(1625-1705)について俳諧を嗜んでいた三男良忠の属徒になり、その縁で芭蕉も俳諧を始める。良忠25歳で死去、芭蕉は彼の遺骨を高野山に納め、藤堂家に致仕を願い出たが許されず、一時故郷を出奔する。芭蕉29歳の寛文12年(1672)、俳諧師を夢見て江戸に下り、磐城平藩主内藤義概(1619-1685)の江戸藩邸の句会に参加して様々な俳人と交わり、この「風虎(ふうこ)の句会」が芭蕉を世に出す契機となる。◆延宝6年頃(1678)職業的俳諧師である宗匠となり一門を率いる。延宝8年、深川の草庵に隠棲、庭に茂った芭蕉の木から「芭蕉庵」と呼ばれ、俳号も「芭蕉」を用いるようになる。後に、談林派の滑稽趣味から離れて、自然や庶民生活の詩情を豊かに表現した新たな蕉風俳諧を打ち立て、俳諧を和歌と対等な地位に引き上げた。芭蕉の死後蕉風は崩れ、低俗な俳諧が横行する。◆この頃、俳諧は地方に拡散し、多くの庶民が行うようになる。与謝野蕪村(1716-1782)、南画と俳諧を能くし師の早野巴人(1676-1742)の跡を継ぎ、俳諧宗匠として俳諧中興の中心となる。小林一茶(1763-1827)、芭蕉を畏敬し、蕪村、貞門、談林派や川柳も学び、その洒脱な句は、独自の世界を醸し出している。◆現代俳諧は正岡子規(1867-1902)から始まる。『近世以来の月並み俳諧を排して、写生を作句の根本に置き、自己の実感から生ずる新しい詩美を見出そうとして、俳壇「ホトトギス」を刊行した。子規の下に集まった人々は「日本派」と呼ばれ、俳壇の

主流となった。これらの子規の活動は、俳句革新運動と呼ばれている。』(Wikipedia より) ちなみに「俳句」という言葉は、子規が発句のみに文学性を認めて名付け、世間に広めた。

大島さんの卓話は、レジュメの(1)俳句とは から(13)どのような歳時記を使うべきか まで初歩的な13項目を丁寧にお話しいただきましたが、(2)俳句はどのようにして生まれたのかに興味を持ち、「歴史」を調べているうちに、講演内容から大きく外れ(2)項のみの説明になったことをお許し願います。

## 月第2例会報告

日時:5月28日・18:45-19:30

場所:名古屋 YMCA 5F 会議室

報告・連絡事項

### 1. 後藤会長

(1)POM 旅行の費用は実費(約12,000円)とする。

(2)老人ホーム音楽訪問

参加予定:大島・櫛田・後藤・鈴木

### 2. 櫛田

パレットキッズとの釣り会

日時:8月22日(土)・現地集合 10:00

場所:みやま荘 長野県木曾福島郡木曾町新開 7618-3

TEL. 0264-27-6177

◇従来、クラブが総額25,000-30,000を負担していたが、今回YMCAの浅野さんと話し合いの結果、今後は放流魚費用、餌代の10,000円ほどの負担とする。

### 3. YMCA 連絡

東海クラブと合同街頭募金・詳細1面参照のこと。

参加予定:大島・後藤・鈴木

## ワイズ連絡会

5月13日午後7時、名古屋在住のクラブから南山を除く新旧会長とYMCAから中村総主事ら13人が、池下の「浜金」に集まり、本年度最後のワイズ連絡会が開催された。

乾杯後、各クラブの近況報告では、大島さんの東海クラブ移籍とクラブ解散後も、プラザの定例事業だった老人ホームへの音楽慰問、パレットキッズとのマス釣りは有志が継続することを話す。後は、各々が3つのテーブルを行き交いながら親交を深め、午後9時に解散した。



## 陶芸教室

今回、5月2日開催の陶芸教室は日が悪く、いつものグランパス3人組が日和田の作業日と重なったため欠席、初参加の川口恵さん(名古屋クラブ)とわがクラブの後藤・島崎さんとわたしの4人と少々淋しい教室でした。

土岐市の佐渡山工房に午前10時に集合、川口さんは佐渡山先生とマンツーマンの指導で葉っぱ模様の小皿を作っている。島崎さんは先回作った香炉の穴が小さくて、火が付かなかったとのことで同じものを作陶している。後藤さんは抹茶茶碗を作るとか。私は先日作った5寸の骨壺を紙ヤスリで削って形を整え、家庭の都合により滞在1時間半で帰る。次回は2,3か月後、素焼きしたものに施釉する作業ですので、都合のつく限り参加願います。



## お酒とのかかわり

NHKの朝ドラ「マッサン」でウイスキー造りには清らかな水とビート(泥炭)の出るところが重要場所であるとの事です。

お酒には蒸留酒と醸造酒があります。蒸留酒は原料の小麦を発酵させて出来上がったアルコールを蒸留器で蒸留させ、精製したものがウイスキーです。ウイスキーの度数は25%~50%が一般的です。醸造酒は米、麦、ぶどう等から酵母で自然醗酵させた物、お酒、ビール、ワインなどです。その醸造倉に付いている菌によって特徴が出てくるとの事です。

NHKの朝ドラ「マッサン」の主人公は竹鶴政孝とリタをモデルとしています。竹鶴政孝はニッカウイスキーの創業者で、マッサンにかかわって出ている鳥居信次郎は

サントリーウイスキーの創業者です。サントリーは清らかな水の出る京都の山崎で、ニッカウヰスキーは北海道の余市で創業した。いずれも日本を代表するウイスキーメーカーです。

世界3大ウイスキーの産地はスコットランドのスコッチ、アメリカのバーボン、日本のジャパネクウイスキーです。蒸留酒と醸造酒の決定的な違いは糖分が有るか無いかで蒸留酒のウイスキー、焼酎、泡盛は糖分が無いものに属します。醸造酒の日本酒、ビール、ワインは糖分があります。私は糖分の無い泡盛党です。(後藤 猛)

## 聖書の言葉

【それはそれとして、私たちすでは到達しているところを基準にして、進むべきです。(ピリピ人への手紙3章16節)】

【いずれにせよ、わたしたちは到達したところに基づいて進むべきです。】

【何かを実行するとき、完璧でありたい、全て成功裡に終わらせたいと思う。ところが、そううまく物事が進んでくれないのが現実です。パウロはその現実を見るにあたって「いずれにせよ」と言う。たとい事態が進展せず、問題がくすぶったままであっても、それをひとまとめにして「いずれにせよ」とくくるのである。解決を図るには、否応なく次のことしかないとやっている。次のこととは、この到達したところが先に進むための出発点だということである。当たり前のことだが、それ以外に次のステップへどのような足場があるか。「いずれにせよ」、そこしかないとすることをしっかりと見つめさせる言葉である。(賀来周一著 「実用聖書名言録」り)】

## Zoom・あ、そうだ江戸へ行こう

かみさんが灯油缶を運びながら「今年は重い」と言う。歳のせい、と口から出そうになったがお互い様「高くなったからね」と半畳を入れても返事はなかった。こちらは地下鉄の階段が難儀である。最後の段で「よいしょ」と呟く横を1段跳ばして駆け抜ける若者が羨ましい。◆体力の衰えはどうしようもないが、この頃の「ど忘れ」には閉口する。いつからか「ヘミングウェイ」がときどき思い出せなくなる。船で釣りをしていたとき、「老人と海」の光景が浮かんだ、作者は？となると出てこない。家に帰るまで気になった。かみさんに、アメリカの小説家、老人と海、スペイン戦争などと並べ立てて見たが罫が明かない。「ヘンリー・ミラー？」の一言に「ん？へ・・・」でやっと思い出した。喉に詰まった異物が取れたような解放感を覚えている。それ以来、頭の「へ」は思い出すが、続いて出てくるのがヘンリー・フォードだったりヘンリー・フォードだったりして脳が道草を食う。ある人の名をいつも「ど忘れ」するとは困ったものである。◆脳力が落ち始めた。ど忘れの「ど」が抜け、

思い出すのに掛かる時間が永久になり、その度に乏しい経験の記憶や知識がポロポロと消えていく実感がある。

「年をとると確かに体は弱くなるし、物忘れもするようになる。しかし、無常ということやさびしさ、わびしさを実感できるようになるのは悪いことではない」と書いた作家がいたが、まだそこまで達観していないのが辛い。脳科学者の茂木健一郎は言う。「人間の脳を考える上で一番大きな概念がオープン・エンド性です。・・・脳がオープン・エンド性を発揮する上で非常に重要な役割を果たしているのがドーパミンです。うれしいこと、快いことがあると放出される報酬物質です。・・・」引用が長くなるので要約すると「知識の探求には終わりがなく、その行動がうれしく、たのしいと思い、喜びになるならば脳の中で神経細胞のつなぎ替えが起る」ということです。

◆近ごろ書店に行くとき計算表、書写本、ぬり絵などを平積みにした「脳活性化コーナー」がある。脳の司令塔である前頭前野を使って鍛える、ことらしく「認知症予防」も謳い文句にしているのは憎らしい。5歳の孫と一緒にぬり絵をする気にはならぬ。事実「前頭前野は単純な作業よりも、行為を概念的にとらえるトレーニングをしたほうが効果的」と脳トレブームに疑問視する学者もいるが。◆年末本の整理をした。退職前から暇になったら読もうと買い溜めた本で書棚が満杯になり、かみさんが「地震が来たたら危ない」と足を棚に向けて寝るわが身を気遣ってくれる。江戸時代の文化、浮世絵・古川柳・食べ物・落語など世相、風俗に類するものが多い。どうして江戸時代か、と問われれば興味があるからとしか答えようがない。◆われわれの世代が習った近世史は鎖国、封建時代、士農工商などの言葉から、抑圧された民衆のイメージが浮かぶが、どっこい庶民は結構楽しんでいたようだ。明治期以降の歴史学者の陰謀ではないか、と思われるほど時代の見方、解釈が歪められている。例えば旅、農民は厳しい年貢に苦しめられ一生旅などできなかった、の思い込みはどうも怪しい。手内職や副業で溜めたお金で農閑期には湯治に行き、近在の有名神社仏閣への参拝旅行もした。余裕のある者は伊勢詣が定番だった。伊勢に行けばついでに京都や大坂をまわりたい。そんなニーズに合わせて京都・大坂の旅籠屋の客引きは伊勢や松坂、桑名まで出向き、予約を取り付け、余分な荷物を宿泊先まで先送りするサービスがあった。◆こんなことを今の近世史の読み物は教えてくれる。過去を全否定した戦後の歴史教育が詰まった頭に、新たな解釈の知識が入り込むのは、添削された文章を読むようですっきりする。書写本やぬり絵をやるよりは長続きするだろうし、認知症予防にも効果はあるだろう。積んであった本をいよいよ読む時が来たようだ。

【ブリテンを整理していると、2007年3月号のZoomが目にとまった。「ヘンリー・ミラー」を暫く思い出せないのは相変わらずだが、それに「コメダ」が加わり増々大変である。当時5歳だった孫娘は今年中学生、先日本屋に行き、せがまれた本とついでに北影雄幸著「幕末の名著 檄文総解説」も買った。残っている本はまだある、これからは読書三昧の毎日、楽しみである。】